

平成 27 年度介護等体験談
特別支援学校<茨木支援学校>

私が通っていた小学校の隣には盲学校（現在は特別支援学校）がありました。だからなんとなくの学校の雰囲気は知っているつもりでした。しかし、目だけではなく、他の身体の障がいをもっていたり、さらに知的な発達障がいを持っている児童生徒が多くいる今回の実習校は私の全く知らないものでした。2日間で多くの設備や道具が目に入り、車いす 2 台が余裕で通過できるような広さの廊下であったり、登下校用のスクールバスから直接校舎に乗り降りできるような玄関であったり他にも強く印象に残っています。担当させていだいた知的な障がいを持つ高校 3 年生のクラスについて、まず最初は今まで接したことがなかったため緊張していました。職業トレーニング中であったため私たちはあまり話さないようにしなければならなかったこともその要因です。でも2日間様々な授業と一緒に参加し生徒たちのそれぞれの生活上の留意点もできる範囲や、好きなこと得意なことも見えてくることで、授業中、休み時間中にコミュニケーションを取るようになれました。ただ、このように仲良くなる中で男子生徒からの接触については幼い子どもではないため注意しなければならず、給食を食べ残すなどのルールは守らせるように厳しく接することも必要であることは先生方にアドバイスをいただきましたが2日間では甘やかしてしまうことが多くなってしまったのが反省点です。今後特別支援学校に赴任しなかったとしても、やることを板書することや指導する際何を反省しなければならないのか説明すること、他にも多くのことをどんな生徒相手にも用いることができると思います。